

平成28年度 教育委員会 第19回定例会 議案

1 日 時 平成29年1月10日（火） 午後1時15分

2 場 所 教育委員会議室

3 日 程

(1) 開 会

(2) 議 事

第41号議案 平成29年度教育行政の基本方針の策定

…1

<非>第42号議案 教職員の懲戒処分

…非

(3) 報告事項

(4) 閉 会

第 41 号議案

平成 29 年度教育行政の基本方針の策定

平成 29 年度教育行政の基本方針を別紙のとおり策定する。

平成 29 年 1 月 10 日提出

静岡県教育委員会教育長

平成 29 年度 教育行政の基本方針

静岡県教育委員会は、個人として自立し、人との関わり合いを大切にしながら、よりよい社会づくりに参画し行動する『有徳の人』の育成を基本目標とする静岡県教育振興基本計画『有徳の人』づくりアクションプラン」第2期計画に基づき、学校、家庭、地域等、社会総がかりでの施策展開に努めています。

本年度は、静岡県教育振興基本計画『有徳の人』づくりアクションプラン」第2期計画の総仕上げに向けて、縦の接続と横の連携で育む「有徳の人」づくりを推進します。

1 生涯学習社会の形成

～一人一人の生涯にわたる学びを支える環境づくりの推進に向けて～

- (1) ライフステージに応じた読書活動の推進や図書館機能の充実を図るとともに、生涯学習社会の実現に向けて、学びの機会の充実や指導者の養成に努めます。
- (2) 県立学校の老朽化対策や特別支援学校における狭隘化等の課題の解消を図り、教育環境の改善に努めます。
- (3) 教職員の多忙化解消に向け、教員以外の専門スタッフを学校に配置するなど、学校が抱える課題に対し早期解決に向かう体制を整備するとともに、教職員のこころのサポートの充実を図り、心身ともに健康な「頼もしい教職員」を養成します。
- (4) 総合教育会議や教員育成協議会等を通じ、市町教育委員会、知事部局及び大学との連携を深め、静岡県の教育の課題やあるべき姿を共有し、新しい時代を展望した教育行政に取り組みます。
- (5) 様々な広報媒体を駆使して、体系的、効果的な広報に努めるとともに、教育行政に対する県民のニーズを把握し、施策展開に生かすため広聴活動の充実を図ります。

2 ライフステージの円滑な接続による人づくりの推進

～学びの場の充実と円滑な接続を目指した施策の推進に向けて～

- (1) 「有徳の人」の基礎を育む教育の充実に向け、幼児期の教育・保育で育成した資質・能力を小学校段階でも生かせるよう、幼小接続のためのモデルカリキュラムを作成するなど、学びの一貫性・連続性を確保する体制を整えます。
- (2) 共生社会を支える人権文化の推進に向けた人権尊重の教育・啓発に努めるとともに、教育相談体制を一層充実させ、いじめ・不登校等、心や家庭の問題を抱える児童生徒への対応を図ります。
- (3) 学校でのお茶をはじめとする地場産物の積極的な活用等、地域と連携した食育を充実させ、健やかでたくましい心身を育成します。

- (4) 「静岡式 35 人学級編制」の更なる充実によるきめ細やかな指導体制の確立や、多様な障害に応じた特別支援教育、発達段階に応じたキャリア教育等、それぞれの学びの場の充実と「確かな学力」の育成に努めます。
- (5) 海外修学旅行や留学等による高校生の国際経験及び教職員の海外研修を支援するとともに、台湾、モンゴル国、中国等との相互交流により、地域や世界に貢献できるグローバル人材の育成に努めます。

3 社会総がかりで取り組む人づくりの推進

～社会総がかりで子どもたちを育む環境づくりの推進に向けて～

- (1) 「しずおか型コミュニティ・スクール」や「学校支援地域本部」の設置を促進し、学校と地域の連携・協働による社会総がかりで子どもたちを育む環境をつくり、学校教育の充実と地域全体の教育力の向上に努めます。
- (2) 地域住民や大学生等の地域の教育力を活用し、学習が遅れがちな子どもたちの学習習慣の改善を図ります。

4 生きがいや潤いをもたらす文化・スポーツの振興

～文化財の保護・活用とスポーツに親しむ環境づくりの推進に向けて～

- (1) 県内文化財の保護に努め、子どもたちが親しみながら文化財に触れる機会を増やすとともに、文化財等を活用した地域学の充実や本物の芸術文化に触れる環境づくりに努めます。
- (2) 「しずおかスポーツ人材バンク」や「地域スポーツクラブ」等による支援を行い、スポーツに親しむ環境づくりや競技力の向上に努め、子どものスポーツ活動を充実させます。

5 現代の重要課題に対応した教育の推進

～現代社会が抱える様々な課題に対応した教育の推進に向けて～

- (1) 児童生徒の学力向上や情報活用能力の育成に向け、教員のICT活用指導力の向上を図るとともに、中山間地域をはじめとする県立学校のICT環境の充実に努めます。
- (2) 学校における防災計画の再構築等、危機管理体制の充実を図るとともに、児童生徒が地域の防災力の担い手としての意識を向上させ、安心して健全な生活を営むことができるよう「命を守る教育」に取り組みます。

第19回定例会 報告事項

番号	項 目	Page
1	家庭教育支援情報 Web サイト「つながるネット」	1
配付 報告	平成 29 年度全国学力・学習状況調査の実施及び参加	5
	東部特別支援学校の施設整備	6
2	<非>平成 30 年度静岡県公立学校教員採用選考試験の変更点等	非

(件 名)

家庭教育支援情報 Web サイト「つながるネット」

(社会教育課)

1 概 要

家庭教育支援に関する幅広い情報をより多くの方々に届けるため、家庭教育支援情報 Web サイト「つながるネット」を県HP上に開設した。

このサイトでは、家庭教育ワークシート「つながるシート」や家庭教育応援企業宣言、各市町の家庭教育支援情報などの紹介に加え、保護者からの子育てに関する悩み・質問に子育て支援者が答える「家庭教育支援Q&A」を設けている。

この「つながるネット」を通じて、インターネット上に家庭教育支援の新たなプラットフォームを構築することを目指す。

2 公開日

平成 28 年 12 月 20 日 (火)

3 URL

<http://www.pref.shizuoka.jp/kyouiku/kk-080/tunagaru/index.html>

検索ワード「つながるネット」



4 主な内容

(1) 家庭教育支援とは

家庭教育の概要や平成 23・24 年に実施した家庭教育実態調査の結果、静岡県家庭教育支援条例について

(2) 家庭教育支援員・家庭教育支援チーム

家庭教育支援員養成研修会の募集案内や家庭教育支援員及び家庭教育支援チームの役割等について

(3) 家庭教育支援Q&A

子育てや家庭教育支援についての質問や疑問を電子申請システムで受け付け、専門家等が回答するQ&A（保護者向けの子育てについての内容と、支援者を対象とした支援方法についての内容）

(4) ふじのくに家庭教育応援企業

ふじのくに家庭教育応援企業の紹介や企業内家庭教育講座の開催情報、ふじのくに家庭教育支援推進企業教育長表彰について

(5) お役立ち資料

家庭教育ワークシート「つながるシート」や親学講座の資料、お父さんの子育て手帳等のデータベース、家庭教育講座開催のノウハウを紹介した手引き

(6) リンク集

市町の家庭教育講座の開催情報や市町の子育て・家庭教育支援ホームページ案内、各市町の家庭教育担当課の連絡先等

静岡県家庭教育支援情報サイト

つながるネット

家庭教育は子どもを伸ばす栄養です。



家庭教育支援とは

家庭教育は、親や、これに当たる人が子どもを伸ばして行く教育のことで、すべての教育の出発点です。

[詳細はこちら](#)



家庭教育支援員・ 家庭教育支援チーム

家庭教育支援員を募集し、家庭教育支援チームを組織して、家庭教育支援活動を実施します。

[詳細はこちら](#)



家庭教育支援Q&A

子育ての悩みや不安、家庭教育支援についての様々な質問と回答を掲載します。(子育てCardアプリ)

[詳細はこちら](#)



ふじのくに 家庭教育応援企業

「家庭の日」を中心としたワークライフバランスに取り組む企業を応援し、取組をしている企業を紹介します。

[詳細はこちら](#)



お役立ち資料

家庭教育ワークシート「つながるシート」や親学講座の資料、お父さんの子育て手帳などの資料を紹介します。

[詳細はこちら](#)



リンク集

静岡県の各市町村における家庭教育支援情報を紹介します。

[詳細はこちら](#)



保護者・支援者の方へ 子育ての悩みについての質問受付中。Q

子育ての悩みや不安、家庭教育支援についての質問をメールフォームで受け付けています。(外部サイトへリンク)

新着情報

◎平成28年12月22日 家庭教育支援情報サイト「つながるネット」を開通しました。

静岡県家庭教育支援条例の理念

「子どもたちは地域の宝です。」

子どもは、地域社会の宝です。子どもを伸ばすには、親や地域社会の協力が必要です。子どもを伸ばすには、親や地域社会の協力が必要です。

更新日:平成28年12月22日

静岡県家庭教育支援情報サイト

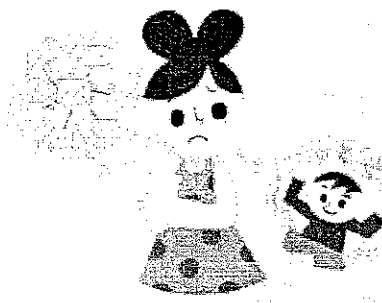
つながるネット

トップページ



- 家庭教育支援とは
- 家庭教育支援員
家庭教育支援チーム
- 家庭教育支援Q&A
- ふじのくに
家庭教育応援企業
- お役立ち資料
- リンク集

子育て中の皆さんへ









- Q 質問1: 母親グループのLINEでのやりとりで振り回される +
- Q 質問2: 落ち着きがない息子の褒め方がわからない +
- Q 質問3: 小2の息子は漢字の書き取りが苦手 +
- Q 質問4: 小1娘の暴言や甘えに苦慮 +
- Q 質問5: 3歳の息子がかんしゃくを起こし、他の子をかむ +
- Q 質問6: 息子への夫の叱り方が気掛かり +
- Q 質問7: 中1息子の反抗期にイライラ +
- Q 質問8: 離婚後、息子の甘え強くなった +

- つながるネットトップページ
- 家庭教育支援とは
- 家庭教育支援員・家庭教育支援チーム
- 家庭教育支援Q&A
- ふじのくに家庭教育応援企業
- お役立ち資料
- リンク集

↑ ページの先頭へ戻る

静岡県家庭教育支援情報サイト

つながるネット

家庭教育支援チームの紹介

家庭教育支援チームは、県が認定した家庭教育支援員とコーディネーターである市町家庭教育支援員を中心に地域の人材で構成され、地域の特性に応じた支援活動を行っています。

※市町家庭教育支援チームは、地域の特性に応じた支援活動を行います。ここに紹介した全ての活動を行うものではありません。



市町支援チームの取組

 <p>多くの市町支援チームでは、家庭教育ワークショップ「つながるネット」を始めたおかげにより家庭教育講座を開催しています。</p>	 <p>伊豆市家庭教育支援チームでは、学校と連携して不登校生徒宅へお話を聞かれています。</p>	 <p>浜田市家庭教育支援チームでは、乳幼児等の保護者を対象とした子育てサロンを開催しています。</p>	 <p>三島市家庭教育支援チームでは、小・中学校で希望する保護者を対象とした相談対応を行っています。</p>
---	---	--	---

(件名)

平成 29 年度全国学力・学習状況調査の実施及び参加

(義務教育課)

1 平成 28 年度全国学力・学習状況調査実施要領

(1) 受領までの経過

- ・平成28年12月7日(水)平成29年度全国学力・学習状況調査担当者会議にて文部科学省より実施要領(案)の説明
- ・平成28年12月16日(金)文部科学省より実施要領の発出

(2) 実施について変更内容

平成 29 年度全国学力・学習状況調査に関する実施要領の記載変更について

- ・調査結果の個票データ等を大学等の研究者や国等の行政機関の職員に貸与すること等を追記
- ・従来から公表している都道府県に加え、指定都市の調査結果についても公表することを追記
- ・設置管理者の判断及び法令に基づき適切な措置を講ずれば、小学校の結果を中学校に送付することができることを追記
- ・保護者に対する調査の実施に伴い記載内容を追加
- ・法改正に伴い、調査対象に公立大学法人附属学校を追加

(別紙実施要領参照)

(3) 市町教育委員会、所管学校への通知

静岡県教育委員会教育長名で12月19日(月)に通知(実施要領の送付)

2 平成 29 年度全国学力・学習状況調査への参加確認

(1) 文部科学省からの参加の有無に関する照会文

- ・平成 29 年度全国学力・学習状況調査に関する実施要領を遵守して、本調査の実施等について都道府県教育委員会の協力確認
- ・平成 29 年度全国学力・学習状況調査に関する実施要領を遵守して、本調査の実施等について市町教育委員会の参加と調査対象となる児童生徒が在籍する学校数の確認

(2) 参加確認と文部科学省への報告

ア 県立中学校

- ・静岡県教育委員会教育長通知にて本調査への参加を確認

イ 市町教育委員会

- ・静岡県教育委員会教育長通知にて市町教育委員会へ本調査への参加の有無を確認
- ・各市町教育委員会の意向を取りまとめ、平成 29 年 1 月 12 日(木)までに文部科学省へ報告

東部特別支援学校の施設整備

(財務課・特別支援教育課)

平成 30 年 5 月の完成を目指し整備を進めている東部特別支援学校の施設の概要を報告する。

1 整備概要

区	分	内	容
現 況	場 所	伊豆の国市寺家	
	敷 地 面 積	10,313㎡ (うち運動場1,849㎡)	
	建 物 面 積	校舎 4,465㎡ (RC造 1～2 階建)、体育館 509㎡ (S造 1 階建)	
	学 級 数 等 (H28.5.1)	学級数 小学部16、中学部 7、高等部10 計33学級 生徒数 小学部46、中学部18、高等部33 計97人	
整 備	移 転 場 所	伊豆の国市寺家 現校舎の南側隣接地	
	敷 地 面 積	17,864㎡ (うち運動場2,890㎡)	
	建 物 面 積	校舎 8,425㎡ (S造 2 階建)、体育館 550㎡ (木造 1 階建)	
	学 級 数 等 (H30見込)	学級数 小学部21、中学部 7、高等部 9 計37学級 生徒数 小学部57、中学部21、高等部20 計98人	

2 概算事業費

(単位：百万円)

区	分	事 業 費	内	容
設 計 等		2 5 2	設計委託、監理委託費等	
工 事 費		3, 5 1 8	建設工事費等	
そ の 他		3 8 5	用地取得、荷物運搬、設備費等	
合 計		4, 1 5 5		

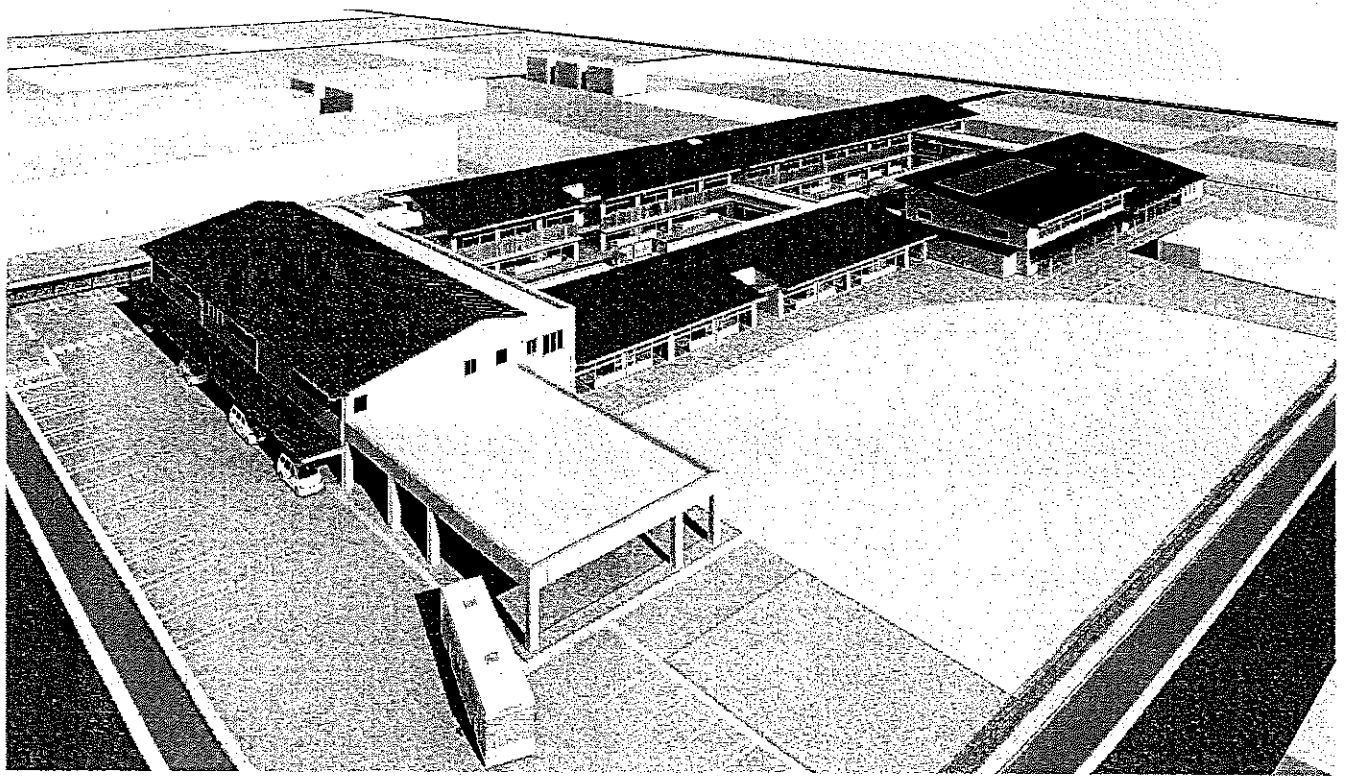
3 事業スケジュール

時 期	内 容
平成 27 年 10 月～平成 28 年 9 月	建築設計、造成設計
平成 28 年 12 月～平成 29 年 5 月	造成工事
平成 29 年 3 月～平成 30 年 5 月	建築工事、グラウンド工事、外構工事等

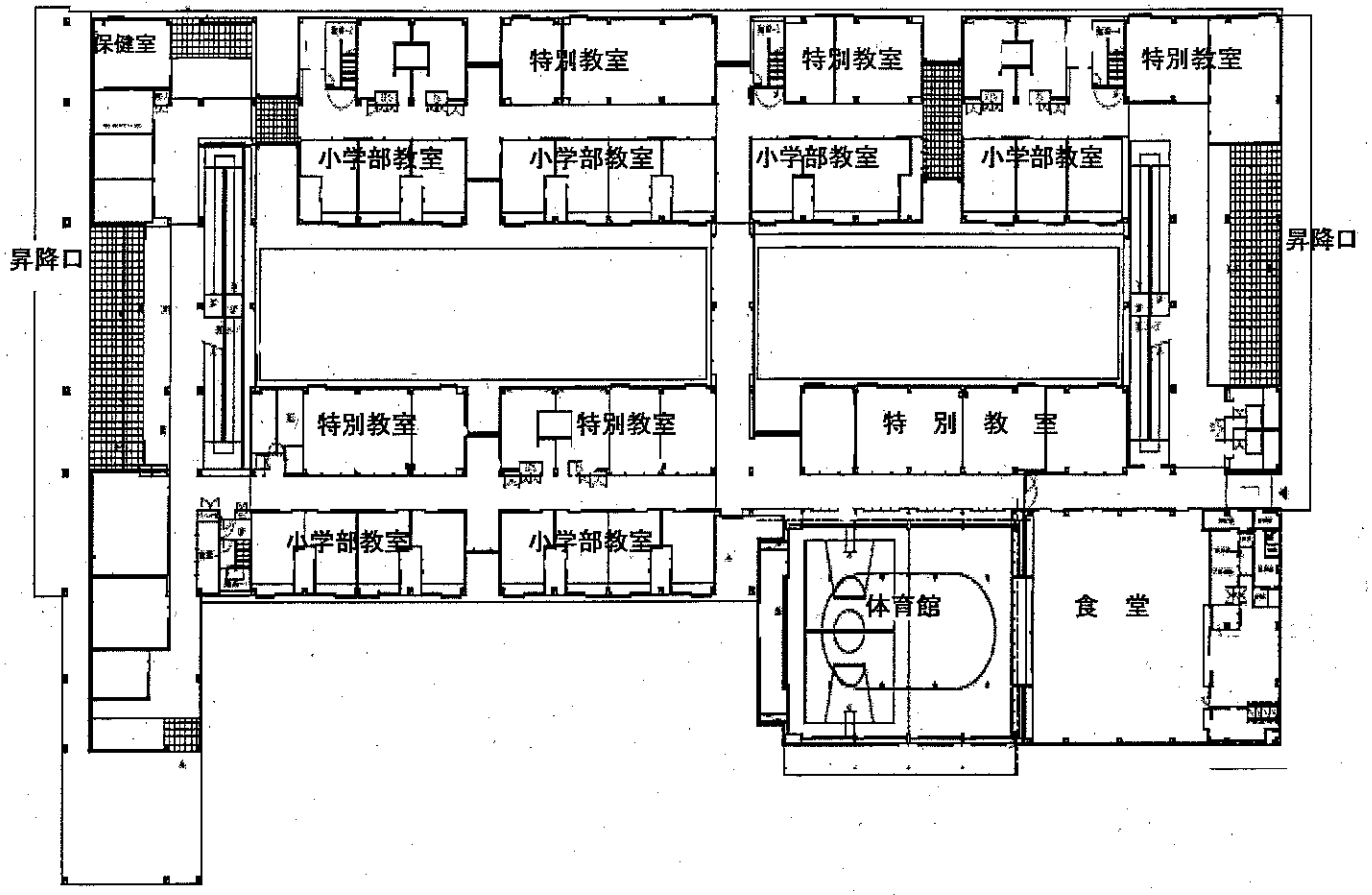
位置図



鳥観図



1階平面図



2階平面図

